

こしみずの年譜

こしみず年譜

- 1869 ○北海道北見国斜里郡と称するようになり、(明治2年) 斜里、網走両郡は名古屋藩の管轄となる。
- 1870 ○斜里郡を名古屋藩より引上げ開拓使の直轄(3年) とする。
- 1872 ○北見四郡の村名を決定し、当て字を付す。(5年) ○4月、戸長を置く。5月、戸籍調査に着手する。
- 1875 ○管内の村名を漢字に改める。アオシマナイ(8年) 村=蒼瑠村、ヤムベツ村=止別村
- 1877 ○アイヌ人口蒼瑠2戸、止別5戸、斜里38戸、(10年) 朱円2戸、遠音別7戸、計54戸・217人
- 1879 ○郡区町村編成法により斜里郡斜里村外4ヶ(12年) 村=蒼瑠村、止別村、朱円村、遠音別村の行政区確定。
- 1886 ○蒼瑠村フレイトイ駅逓設置。塚本命助取扱人(19年) となり駅逓馬を飼育。中間休憩所を止別川口(浜止別)におく。止別川・湧沸湖に渡船をおく。
- 1891 ○小清水駅逓が開設され宮城県人半沢真吉取(24年) 扱人となる。(小清水1番地=現184番地) 野川駅逓開設水本栄助取扱者となる。補助金年額24円。後塚本伊勢太これを継ぐ。
- 1894 ○新潟県人、竹中安之助、小清水駅逓を引継ぐ。(27年)
- 1901 ○東京の人、山田眞牧場を経営するに当たっ(34年) て、管理人更科鉄太郎外4名が来住し、農家定住の基となる。
- 1902 ○山田牧場に岩田朔太郎外19名来住する。(35年)
- 1904 ○止別、中島に新村徳太郎外6名入植、20線(37年) 3号付近に遠藤佐吉入植する。
- 1905 ○戸長に福原歳次郎就任。斜里村総代人を止(38年) 別村、蒼瑠村からも選出。更科鉄太郎、稲垣吉慎、塚本命助の3人総代となる。
- 1906 ○竹中安之助澱粉製造を試みる。(39年)
- 1909 ○小清水神社創建。9月14日鎮座祭、15日本(42年) 祭、神主渋川保次郎奉仕。
- 1912 ○小清水市街に村医をおく。(田中医師)(大正元年)
- 1915 ○2級町村制を施行。斜里、朱円、遠音別、(4年) 蒼瑠、止別5ヶ村合併して斜里村となる(初代村長古田重静)。第1回村会議員選挙、(7人の総代より12人の村会議員となる)。
- 1916 ○小清水市街に止別郵便局が開設される。(5年) 初代局長米沢貞吉。
- 1919 ○旧斜里村より止別、蒼瑠2か村を分村し、小(8年) 清水村となる(人口5,740人)。
○役場を市街6区嶋岡幾太郎宅において執務を開始。
○私設小清水消防団結成(初代組頭佐藤福三郎、腕用ポンプ備付)。
○11月、役場庁舎、現中央公民館位置に新築移転する。
- 1920 ○亜麻製織工場の設置。(9年)
- 1921 ○神威佐々木源三郎、砥草原稲川寅吉、浦士別(10年) 牛渡吉之助、自然水利用水稻栽培をはじめ。

- 1922 ○製麦製粉工場富樫泰司はじめる。(11年)
- 1925 ○小清水神社、社殿を増改築し天御中主神の(14年) 御神霊を合祀する。
○釧網線網走・斜里間開通(古樋、止別駅開業)
- 1927 ○小清水に荻野啓一が電灯を架設する。(昭和2年)
- 1930 ○小清水市街から止別駅まで北見鉄道輸送開(5年) 始。
- 1931 ○古樋小清水間に横道彦吉が自動車を運行。(6年)
- 1934 ○商業組合設立。(組合長 嶋岡幾太郎)(9年)
- 1936 ○小清水小学校内で皆既日蝕観測に成功(6月(11年) 19日午後3時17分)。
- 1939 ○小清水尋常高等小学校校舎全焼。(14年)
- 1941 ○北見日赤小清水分院開院。(分院長 二宮温次)(16年)
- 1943 ○神威、札鶴、上札鶴、東萱野を分割し、上(18年) 斜里村を分村する。
- 1944 ○農会と産業組合を合併し小清水村農業会と改(19年) 称。(会長 加藤宗二郎)
- 1946 ○樺太、満州等から145戸の引揚者、復員者が(21年) 入植する。
- 1947 ○商業組合は商業協同組合に改組される。(22年) (組合長 菅原省吾)
- 1948 ○開村30周年記念式典挙行。(23年) ○小清水農業会を解散し小清水村農業協同組合を設立。(組合長 高橋隆志)
- 1950 ○網走南ヶ丘高等学校小清水分校(現小清水(25年) 高校)開校。
○小清水連合婦人会結成。(会長 橋本八重子)
- 1952 ○小清水商工会が設立される。(初代会頭(27年) 上田実)
- 1953 ○町制施行。(人口11,140人)(28年) ○国民健康保険浜小清水直営診療所開設。
- 1955 ○小清水営林署開設。営林署庁舎落成。(30年)
- 1958 ○横道彦吉名誉町民となり銅像建立。(33年)
- 1961 ○小清水市街道道(開発道路)延長1,500m(36年) 舗装竣工。
- 1962 ○八木吉助名誉町民となり顕彰建立される。(37年) ○加藤宗二郎名誉町民となる。
- 1964 ○小清水高等学校道立に移管される。(39年)
- 1966 ○簡易水道基幹工事完了、給水開始。(41年)
- 1968 ○開基90周年、開町50周年、町制施行15周年、(43年) 北海道百年記念式典挙行。
○町民憲章制定。
- 1969 ○ごみ焼却施設完成。○小清水赤十字病院完成。(44年)
- 1971 ○町立歯科診療所完成 ○町立図書館開館(46年) ○柔剣道場完成 ○統合中学校竣工
- 1972 ○冬季オリンピック聖火小清水を通過。(47年)

こしみずの年譜

こしみず年譜

1973 (昭和48年) ○第24回全道青年大会を開催。
○統合小学校竣工。

1974 (49年) ○学校給食センター完成。

1975 (50年) ○農業総合研修センター完成。

1977 (52年) ○藤原教4代目名誉町民となる。

1978 (53年) ○開基100年開町60年記念式典挙行。

1979 (54年) ○特別養護老人ホーム完成。

1980 (55年) ○浜小清水前浜キャンプ場設置。
○温泉ポーリングにより自噴。

1981 (56年) ○温泉保養センター完成。
○小清水北地区簡易水道通水。

1982 (57年) ○農業者トレーニングセンター完成。

1983 (58年) ○開基百年記念公園完成。

1984 (59年) ○国営止別川上流地区直轄明渠排水事業竣工。

1985 (60年) ○多目的研修集会施設完成。
○道立小清水高等学校新校舎完成。

1986 (61年) ○畑総事業泉体験圃場で散水開始。

1987 (62年) ○国鉄釧網線止別駅、浜小清水駅が民間委託駅となる。

1988 (63年) ○小清水郵便局新局舎完成。
○小清水西地区簡易水道通水。
○廃棄物処理施設完成。
○自治会制スタート。

1989 (平成元年) ○フレトイ展望台完成。

1990 (2年) ○町民プール完成。

1991 (3年) ○農業集落排水事業による下水道供用開始。

1992 (4年) ○止別出張所・第2分団消防庁舎完成。

1993 (5年) ○小清水警察官駐在所移転新築。
○小清水温泉ふれあいセンター完成。

1994 (6年) ○浜小清水第3分団消防庁舎完成。
○小清水赤十字病院移転新築。

1995 (7年) ○小清水営林署が網走営林署に改名される。
○ハイランド小清水725完成。

1996 (8年) ○コミュニティプラザ完成。(図書館・児童館)
○小清水市街地まち並整備事業着手。

1997 (9年) ○ゆりの郷こしみず「リリーパーク」オープン。

1998 (10年) ○小清水町高齢者生活福祉センター完成。
○ふるさと小清水120年・開町80年記念式典挙行。

1999 (11年) ○網走営林署が網走南部森林管理署に改名される。
○小清水原生花園インフォメーションセンター「Hana」完成。

2000 (12年) ○野焼きシンポジウム・イン・小清水「第3回全国草原サミット」開催。
○活性化センター「はなやか(葉菜野花)小清水」完成。全道で70番目の「道の駅」に指定される。
○小清水市街歩道ヒーティング事業開始。
○浜小清水地区農業集落排水事業による下水道供用開始。
○町営住宅「南団地」完成。

2001 (13年) ○宿泊研修施設「こしみず21交流館」完成。
○止別地区農業集落排水事業による下水道供用開始。
○中斗美地区・止別地区簡易水道通水。
○国営北斗地区直轄明渠排水事業完成。
○町営住宅「新浜小清水団地」完成。
○町葬斎場完成。

2002 (14年) ○神浦住民センター完成。
○小清水市街歩道ヒーティング事業完了。

2003 (15年) ○町制施行50周年。
○町営住宅「新止別団地」完成。

2004 (16年) ○小清水野球場完成。
○網走南部森林管理署新庁舎完成。
○小清水原生花園、北海道遺産に選定。

2005 (17年) ○湧沸湖、ラムサール条約登録湿地へ。

2006 (18年) ○共和・上徳住民センター完成。

2007 (19年) ○町営住宅「若木団地」完成。
○浜小清水駅 JR北海道のDMV試験運行開始。
○役場庁舎改修
○国営畑地帯総合土地改良パイロット事業完工。

2008 (20年) ○役場庁舎前小公園駐車場完成。
○新消防庁舎完成。

2009 (21年) ○町営牧場舎飼施設完成。

2010 (22年) ○水上小学校閉校。
○小清水神社、社殿の改築完成

2011 (23年) ○地域情報通信基盤整備事業完了。
○小清水町多目的研修集会施設(愛ホール)増改築工事完成。

2012 (24年) ○小清水・北陽・止別・旭野・中斗美小学校閉校。
○小清水小学校開校。